

令和8年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)「成長分野転換枠」＜継続分＞
申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	愛知淑徳大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	愛知
大学全体の総収容定員	8,200 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科組織構成	文学部（国文学科）、教育学部（教育学科）、人間情報学部（人間情報学科）、心理学部（心理学科）、創造表現学部（創造表現学科（創作表現専攻、メディアプロデュース専攻））、建築学部（建築学科）、健康医療科学部（医療貢献学科（言語聴覚学専攻、視覚科学専攻、理学療法学専攻、臨床検査学専攻）、スポーツ・健康医科学科）、食健康科学部（健康栄養学科、食創造科学科）、福祉貢献学部（福祉貢献学科（社会福祉専攻、子ども福祉専攻）、交流文化学部（交流文化学科）、ビジネス学部（ビジネス学科）、グローバル・コミュニケーション学部（グローバル・コミュニケーション学科）		
事業計画名	愛知淑徳大学応用生物学部設置計画		

2. 事業概要

本学は、令和10年4月に入学定員120名、収容定員480名からなる「応用生物学部」を開設する予定である。本学部は、<u>バイオサイエンスを基盤とした基礎分野から、食品や化粧品、発酵・酵素利用技術等の応用分野を体系的且つ横断的に学ぶこと</u>で、<u>科学リテラシーを身に付け、幅広い分野で社会に貢献できる人材を育成する</u>。自然科学全般の基礎科目に加え、<u>食品・化粧品関連分野及び発酵・酵素利用技術等を含むバイオテクノロジー分野に関する専門知識と技術を身に付ける専門教育を展開し、3年次から4コース（「食品科学コース」、「コスメティックサイエンスコース」、「バイオサイエンスコース」、「理科教員養成コース）」に分かれる"ゆるやかなコース制"を敷く</u>予定である（各コースに関する科目を学生の興味・関心に応じて概ね自由に履修可能、<u>中学校・高等学校教諭一種免許状（理科）等の資格取得も可能</u>）。また、コース毎の専門的な学修において、<u>食品会社や化粧品企業等と連携したPBLや学外実習等を取り入れた専門的且つ実践的な学びを展開する</u>予定である。現代社会における理系人材の不足を解消し、その育成促進の一助を目指す計画である。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	応用生物学部					
設置等組織の学位分野	理学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	愛知県長久手市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	120 名					
他学部等の入学定員の減少数	120 名					



事業計画名	愛知淑徳大学応用生物学部設置計画				
-------	------------------	--	--	--	--

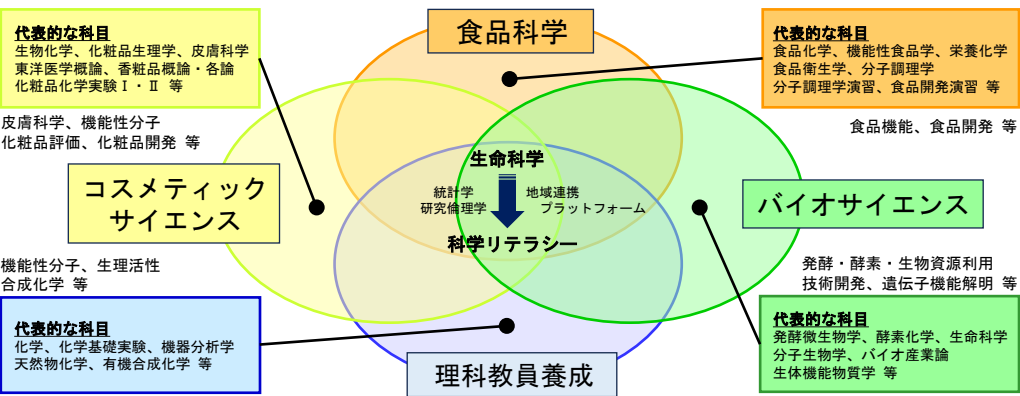
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	応用生物学部応用生物化学科	入学定員増数(合計数)	120名
所在地	愛知県長久手市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	120名

社会や地域のニーズ・課題

- ・「経済財政運営と改革の基本方針2025」や「第6期科学技術・イノベーション基本計画」において推進すべき分野として『バイオテクノロジー』、『健康・医療』等の課題が列挙 ⇒ 「バイオ・ヘルスケア関連技術」分野等に寄与
- ・企業や行政に携わる方々と意見交換・聴取を実施
- ・理系分野への進学、女性の理系進出等の社会ニーズや国策の方向性との合致

設置学部の概要・コンセプト・特徴など

- ・3年次からの“ゆるやかな”4コース制（「食品科学」、「コスメティックサイエンス」、「バイオサイエンス」、「理科教員養成」）を導入し、興味、関心は勿論のこと、具体的な進路も見通すことのできる学びを展開
- ・自然科学全般の基礎科目に加え、食品・香粧品関連分野及び発酵・酵素利用技術等を含むバイオテクノロジー分野に関する専門知識と技術を身に付け、科学的な観点から社会に貢献することができ、様々な社会的課題に対して科学的な根拠に基づいて実態評価を行い解決策を創案あるいは研究成果を発表できる能力を科学技術に関する正しい倫理観とともに養う



教育内容・養成する人材像

- ①幅広い進路選択が可能な学び（食品、コスメ、バイオ、理科教育 等）
- ②地域連携、産学官連携等による実践的な学び（PBL等の推進）
- ③3年次から4つの分野（食品、コスメ、バイオ、理科教育）に分かれる“ゆるやかな”コース制の導入（4コース制：「食品科学」、「コスメティックサイエンス」、「バイオサイエンス」、「理科教員養成」）
- ④生命科学を基盤とした基礎分野から、食品や香粧品、発酵・酵素利用技術等の応用分野を体系的且つ横断的に学び、科学リテラシーを備え、幅広く社会に貢献できる人材の育成（関連産業の技術者としてのみならず、中学校・高等学校の理科教員を含む様々な職種で活躍できる人材養成を目標）
- ⑤一流企業出身者や当該研究分野の第一人者が多数揃う教員組織
- ⑥総合大学ならではの“文理横断学修”も可能とするカリキュラムを展開

連携を通じた教育体制の整備

- ・食品会社や香粧品会社等と連携した講義（座学）や実習（体験学修）の実施（産学連携による講師派遣、実務経験のある教員による授業実施等を含む）
- ・近隣の市町村や企業と連携した“食品”、“コスメ”、“バイオ”等に関する実践教育（地方自治体や地場産業等との連携）

多様な志願者・入学者の確保

- 令和7年度入試～
- 公募制推薦入試（学校推薦型選抜）の選抜方法（出題科目）への「数学」追加や一般入試（一般選抜）〔前期3教科型・前期2教科型〕の選抜方法（学力試験：出題科目）への「物理基礎」の追加を行い、理系科目（数理）での受験促進を行い、理系クラスや理系科目（数理）を得意とする受験生（理系学生）の受験機会の促進（理系学生の志願者・入学生増加への取組）
- ⇒「理系促進に資する新たな入試制度」の導入検討（令和10年度入試～）